期間進行基準による振替額	資産見返運営費交付金	労災	0	雇用勘定　158,609,542 計　186,368,275 ・一般勘定：（外部委託費：3,943,315） ・労災勘定：（外部委託費：23,444,171、通信費：371,247） ・雇用勘定：（外部委託費：92,663,103、賃借料：41,271,916、保守料：10,010,087、消耗品費：3,571,707、通信費：679,445、減価償却費：9,234,773、財務費用：1,178,511） イ）自己収入に係る収益計上額： 一般勘定　0 労災勘定　0 雇用勘定　6,198,520 計　6,198,520 ・雇用勘定：（雑益：6,198,520）
		雇用	0	
		小計	0	
	資本剰余金	一般	0	
		労災	0	
		雇用	0	
		小計	0	
	計		192,238,000	
	運営費交付金収益	一般	320,553,707	①費用進行基準を採用した業務：期間進行基準を採用した業務以外の全ての業務 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額： 一般勘定　373,682,577 労災勘定　77,258,158 雇用勘定　1,551,510,738 計　2,002,451,473 ・一般勘定：（人件費：291,800,807、外部委託費：6,746,996、雑給：21,821,141、諸謝金：12,191,050、図書印刷費：13,202,421、消耗品費：1,397,249、賃借料：5,276,634、保守料：22,680、通信費：1,193,281、旅費交通費：8,219,112、水道光熱費：2,446,488、修繕費：1,365,678、租税公課：2,059,718、減価償却費：982,803、財務費用：72,566、雑損：3,850,695、その他：1,033,258） ・労災勘定：（人件費：41,833,433、諸謝金：5,069,380、図書印刷費：551,880、通信費：389,789、賃借料：302,600、水道光熱費：12,236,356、消耗品費：7,192,188、修繕費：102,900、租税公課：4,350,500、外部委託費：3,882,993、旅費交通費：570,510、減価償却費：707,529、その他：68,100） ・雇用勘定：（人件費：746,968,399、外部委託費：257,800,391、雑給：198,808,492、諸謝金：51,791,370、図書印刷費：51,164,564、消耗品費：74,958,023、賃借料：10,713,132、保守料：12,755,468、通信費：12,430,761、旅費交通費：29,369,732、水道光熱費：27,870,750、修繕費：10,618,807、租税公課：22,556,292、減価償却費：26,152,081、財務費用：652,971、その他：16,899,505）
		労災	76,550,629	
		雇用	1,525,688,048	
		小計	1,922,792,384	
	資産見返運営費交付金	一般	2,029,650	
		労災	0	
		雇用	49,396,591	
		小計	51,426,241	
	資本剰余金	一般	0	
		労災	0	
		雇用	0	
		小計	0	
費用進行基準による振替額	計		1,974,218,625	イ）自己収入に係る収益計上額： 一般勘定　52,756,218 労災勘定　0 雇用勘定　4,063,574 計　56,819,792 ・一般勘定：（業務収入：51,626,007、財務収益（受取利息）：3,559、雑益：1,126,652） ・雇用勘定：（雑益：4,063,574） ウ）固定資産の取得額： 一般勘定　2,029,650 労災勘定　0 雇用勘定　49,396,591 計　51,426,241 ・一般勘定：（工具器具備品：2,029,650） ・雇用勘定：（工具器具備品：49,396,591） ③運営費交付金の振替額の積算根拠 一般勘定　322,583,357 労災勘定　76,550,629 雇用勘定　1,575,084,639 計　1,974,218,625 ・一般勘定：（費用373,682,577＋資産取得2,029,650）－自己収入52,756,218－資産見返負債戻入372,652＝322,583,357 ・労災勘定：費用77,258,158－自己収入０－資産見返負債戻入707,529＝76,550,629 ・雇用勘定：（費用1,551,510,738＋資産取得49,396,591＋固定資産除却損2,497,447）－自己収入4,063,574－資産見返負債戻入23,960,498－貯蔵品8,630－リース取引影響額287,435＝1,575,084,639 運営費交付金収入から自己収入で充当した経費相当額を除いた額を運営費交付金収益に計上することとしている。
会計基準第81第３項による振替額			0	第３期中期目標期間初年度であることから、独立行政法人会計基準第81第３項の規定に該当せず。
合　計			2,166,456,625	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高			残高の発生理由及び収益化等の計画
		勘定	金　額	
	業務達成基準を採用した業務に係る分		0	－（業務達成基準を採用した業務は無い）